

陳情第 72号

令和6年 8月15日

川崎市議会議長 青木 功 雄 様

多摩区在住者

川崎市プレミアムデジタル商品券に関する陳情

陳 情 の 要 旨

川崎市プレミアムデジタル商品券がP a y P a yアプリを使って行われた。スマホを持っていない人もいるため、次回以降は、ブランドプリペイドカードを用いた応募もお願いしたい。

陳 情 の 理 由

本市はスマホを持つ人のみデジタル商品券を販売している。お年寄りでスマホを持たない人に対しては切り捨てる政策を行う。事業目的として「エネルギー価格を始めとした物価高騰の影響を受けている市民の暮らしと企業活動への影響を踏まえ、消費の下支えを通じた地域経済活性化及びデジタル化促進を目的として、P a y P a yアプリを活用し、市内在住者を対象としたプレミアム付きデジタル商品券を発行します。」と言うが、スマホを持つ市内在住者のみの政策であり、行政の仕事を民間事業者に丸投げをしていると感じる。そこでキャッシュレス化を進めるのであれば、一部をブランドプリペイドカード（国内シェア50%のV I S A）を用いた政策にすれば、不公平感はなくなる。次回以降実施する際には、ブランドプリペイドカードを用いた地域経済活性化をお願いします。